

入新井特別出張所管内の人口
令和5年9月1日現在

世帯数 24,081 (+153)
男 21,101 (+128)
女 20,586 (+28)
計 41,687 (+156)
()内は5月1日比

わがまち いりあらい

発行：地域力推進
入新井地区委員会
編集事務局：入新井特別出張所
〒143-0016 大田区大森北 1-10-14
TEL 3761-5303

(年3回1月, 5月, 9月発行)

入新井の今と昔

八幡川があった!

江戸時代、六郷用水北堀の最北端が大森駅南側の線路を渡り入新井西公園付近を経て八幡通りを交差し大井村の境を流れ高田耕地を灌漑した後、現イトーヨーカドー大森店を下り磐井神社北側で他の用水と合流し海に注いでいました。堀幅約2.7mで通称「八幡川」といわれていました。東海道(現国道15号線)を八幡橋で潜り海に注ぐ処には潮除けの扒樋(※いりひ)が設置され、八幡脇の扒と呼ばれていました。



ZOOM UP! 旭橋

ZOOM UP! 八幡橋の名残

明治9年、大森駅が開業すると駅近くの八幡通りは美原通りと駅を結ぶ主要道路となり、東海道から平間街道に至る府道として開かれました。八幡川が海に注ぐ辺りに、明治20年、東京で最初の海水浴場(通称:八幡海岸)が出現します。

さて、いかがでしたか?徳川家康が江戸を開墾し玉川上水や多摩川用水、六郷用水等のインフラ整備をしたお陰で、大森の海に良質の水が流れ、その豊富な栄養が日本一の海苔を育みました。沢田東児童公園にある碑に「海苔は潮の干満と養分を運ぶ川があって、海水と真水が混ざりあう処に生育する」と書かれています。大森海苔が日本一旨い理由が真水と海水が混ざり丁度良い塩分濃度となり旨い海苔が生まれた訳です。一方、日本初の鉄道開業から僅か4年後、大森駅も開業し、さらなる発展を経て現在の大森駅の礎となった訳です。

※いりひ:川の水を引き入れ、または川へ水を吐き出すための水門に設けられた樋(とい)。



東京府荏原郡大森町入新井村通信地図(明治44年発行)

参考文献:大森歴史散歩(伊藤一也編)、磐井の里(入新井1丁目東町会郷土史研究会編)、六郷用水(大田区立郷土博物館編)、町場ガイド(別冊おとなりさん02年版)、入新井町誌(角田長蔵)京急全線古地図さんぽ(株式会社フォト・パブリッシング)より
取材協力:大田区立郷土博物館築地貴久学芸員

(編集委員 新元 賢二、嶋原 光男)

交通功労者等感謝状 伝達贈呈式

前号の自転車乗車時のヘルメット装着にかかる記事が、地域の交通事故防止に多大な貢献をしたとして、6月27日に感謝状を贈呈していただきました。今後も地域の皆さまにとって有益な情報を提供し続けられるよう精進してまいります。



出席者
左:太田委員
中央:飯野所長
右:岡村編集長



第21回 入新井盆踊り大会



7月22日、23日の2日間に渡り、4年振りに開催できました!おおよそ4,500名の方に参加していただき、大いに盛り上がりました。来年も楽しみにしてください☆

★地域情報紙「わがまち いりあらい」は入新井特別出張所にも置いてあります。



入新井図書館に行ってみよう! Let's Go to the Library PART 2

案内人



マスコットキャラクター
リアラ

小川 直美
館長

「入新井図書館」に行ってみよう!の第二弾です。「学びと地域のパートナー」として気軽に相談できる頼れる図書館をもっと知ろう。



読書週間 10月27日(金) ~ 11月9日(木)

入新井図書館では「特製しおり」など、お楽しみ企画をご用意しています。
※11月9日は休館です。ご注意ください。

読むのが苦手な子も楽しめる本があるといいんだけど?

今年はどんな子どもも楽しめるように工夫された本を展示する「りんごの棚」が各館を巡回します。入新井図書館には10月まで展示していますので、是非手に取ってみてください。貸出もできます。

他館の本も読みたいけど?

大田区立図書館の資料は区内のどの図書館からでも予約して借りたり、返却ができます(一部の資料は除く)。*気軽にカウンターにお声をかけて下さい。

館内でも飲食したいけど?

水分補給はできます。密閉できるフタ付きの容器をお願いします。食べ物は食べられないので、カバンにしまっておいてくださいね。

パソコンを使いたいけど?

机のある座席は58席あり、その内窓際の27席と、ビジネス優先席2席(要申込)では、自分のパソコンを使えます。

荷物置きっぱなしの席があるけど?

館では1時間に1回、館内の巡回をして施設管理と防犯に努めています。その際、荷物を座席に置いたまま不在が続く場合は、一時荷物をお預かりして席を空けさせていただくことがあります。

窓口に行列ができていることがあるんだけど?

自分で簡単に操作できる「セルフ貸出機」(自動貸出機)、「セルフ返却機」(自動返却機)の案内を進め図書館をもっと便利に利用できるよう努めて参ります。

取材：編集委員 白田 幸生 撮影：編集長 岡村 篤



入新井図書館の基本情報

住所：東京都大田区大森北1丁目10番14号 Luz 大森4階
開館時間：午前9時から午後8時(1月4日は、午前10時から午後8時)
休館日：第二木曜日(祝日の場合は翌日)
年未年始(12月29日から1月3日)
特別整理期間(年1回)
電話：03-3763-3633



大田区立図書館ホームページ

表彰

日赤・金色有功章 (20年以上)	(入 六) 大東 洋一郎
日赤・金柁支部長感謝状 (10年以上)	(北六南) 田中 靖一
令和5年度 大田区自治会・町会正副会長 20年在職者感謝状	(入三西) 河西 昭夫
令和5年度大田区交通安全功労者	(入 六) 岡村 篤
自治会・町会役員 永年在職者表彰	(入一東) 山口 正幸 菊池 祐治 平林 一純 (入一西) 志水 広昭 宮坂 東明 小澤 純子 (入二北) 清水 武 和久井 宮子 増田 とくみ (入三西) 守岡 よし枝 山田 妙子 (入 四) 五十川 洋彦 大久保 元也

編集後記

思わぬことで、この度大森警察から「わがまちいりあらい」編集委員会が、春の交通安全運動週間に因んで表彰されました。その理由は、「自転車利用の際のヘルメット着用の件で、警察行政に大いに貢献」とのこと。大変光栄なことで、これも日頃の委員の皆様の高い見識とゆるがぬ研究心の賜であります。今年に入って、コロナは二類から五類に移行し、ひところの勢いはなくなり、いろいろな行事が復活。四年ぶりに盆踊り、祭りが開催されました。特に久々の盆踊りは、会場が溢れんばかりの今までにない盛況ぶりです。多くの参加者を魅了させました。

(編集長 岡村 篤)